

今後の国立大学附属病院施設の在り方に関する調査研究協力者会議

令和 8 年 6 月 3 日
文教施設企画・防災部長決定

1 趣旨

国立大学附属病院は、高度医療の提供、医学教育及び臨床研究の実施並びに感染症・災害医療への対応等の機能を担い、我が国の医療の質の向上及び人材養成の高度化に貢献してきた。これらの施設については、老朽化・狭隘化への対応や教育研究機能の強化を図る観点から、1980 年代以降、計画的な再開発整備が進められてきており、現在はその整備が概ね一巡した状況にある。

近年、医療を取り巻く環境の変化に伴い、新たな地域医療構想に基づく医療機関の機能分化・連携の推進や医療資源の効率的な活用が求められている。こうした中、国立大学附属病院においては、教育・研究・診療機能を一体的に強化しつつ、高度医療の拠点としての役割を担うとともに、地域医療にも貢献し、これらの機能の明確化と質の向上を図ることが重要である。

このような状況を踏まえ、将来にわたりこれらの機能を持続的に発揮できる基盤を確保する観点等から、今後の国立大学附属病院施設の在り方について検討を行うこととする。

2 検討事項

- (1) 近年の国立大学附属病院の施設整備の現状と課題について
- (2) 国立大学附属病院の今後の施設整備の在り方について
- (3) 国立大学附属病院の持続可能な施設整備の推進方策について
- (4) その他

3 実施方法

別紙の学識経験者等の協力を得て、2 に掲げる事項について検討を行う。

なお、必要に応じて、ワーキング・グループを設置するとともに、その他の関係者の協力を求めることができる。

4 実施期間

令和 8 年 6 月 16 日から令和 10 年 3 月 31 日までとする。

5 その他

本調査研究協力者会議に関する庶務は、関係局課の協力を得て、大臣官房文教施設企画・防災部計画課整備計画室において行う。

今後の国立大学附属病院施設の在り方に関する調査研究協力者会議
委員名簿

(令和8年6月現在)

おさき 尾崎	まこと 誠	長崎大学病院長
こすげ 小菅	るか 瑠香	芝浦工業大学建築学部建築学科教授
しおざき 塩崎	えいじ 英司	一般社団法人国立大学病院長会議理事・事務局長
すずき 鈴木	ひろこ 裕子	鈴木裕子公認会計士事務所所長・公認会計士
たけはら 竹原	じゅん 潤	株式会社システム環境研究所代表取締役社長
たけむら 武村	ゆきえ 雪絵	東京大学医学部附属病院病院長補佐・看護部長
ふじた 藤田	えい 衛	株式会社山下設計取締役副社長執行役員
むらまつ 村松	さとし 聡	静岡県健康福祉部医療局地域医療課長
やました 山下	てつろう 哲郎	工学院大学名誉教授
わきもと 脇元	なおひこ 直彦	佐賀大学医学部事務部長
わだ 和田	たかし 隆志	金沢大学学長
わたなべ 渡邊	ゆきはる 恭令	筑波大学施設部長

(以上12名、敬称略、五十音順)